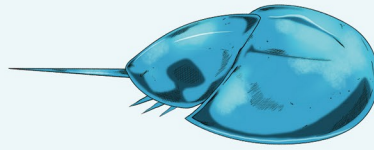


# まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 5号 令和4（2022）年10月発行



- P.1 笠岡市議会 議員報酬について
- P.2-3 個人質問について
- P.4 日々の活動より 他



## 笠岡市議会 議員報酬について

令和3年12月8日、笠岡市議会議員の月額報酬を令和4年4月から50万円とせず、第三者機関の特別職報酬等審議会の答申である45万円の通り据え置くことを求める市民請願が2300人以上の署名と共に提出されました。

この請願については、令和4年3月定例会において請願者と紹介議員との間で請願趣旨に対する食い違いがあったため継続審議となり、

笠岡市議会は令和4年1月24日臨時会において、議員報酬及び期末手当の特例期間延長を発議、原案は全員一致で可決され、現在の議員報酬45万円を尊重し、令和4年4月からも据え置いてほしいという請願内容そのものが現在実施されている。

という理由から、令和4年6月定例会において不採択となりました。

### 議員報酬に関するこれまでの動き

- 令和2年6月議会において、議員報酬を現在の額から2割カットにしようという発議第2号「笠岡市議会の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例の改定について」を真鍋は賛成者として提出したが、反対多数で否決された。（R2.6.5）
- 令和2年6月議会個人質問において、特別職報酬等審議会開催の必要性について言及、市長より「おっしゃることも一理あるかな」との答弁あり。（R2.6.16）
- 令和2年9月議会個人質問において、同じく言及した際「我々自身も報酬を削減してまでしっかりと対応していくことも、検討しなきゃいけないと思っている。特別職報酬等審議会の立ち上げも、近々にまた考えていきたい。」との答弁あり。（R2.9.15）
- 令和3年8月4日、第1回笠岡市特別職報酬等審議会が開かれた。その後、令和3年10月1日、令和3年11月24日の計3回開催された後、答申が提出された。

### 真鍋の視点

笠岡市議会基本条例第26条第2項には

「議員報酬の見直しに当たっては、市政の現状と課題、将来の予測及び展望を考慮しなければならない」とあります。

新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻などの影響で市民生活が大変厳しい状況の中、議会は真摯に市民生活に寄り添い、議員報酬については今後も慎重に審議していく必要があります。以下、笠岡市議会基本条例等に基づく総合評価の評価票を記載する中で、議会・行政改革特別委員会に対して、真鍋が提出した意見です。

- 議員報酬額については未だ市民からの批判が絶えない。令和5年3月末まで報酬審の答申額に合わせていることについても周知されていない。複合的に社会状況が悪化し、市民生活が苦しいという声が日々届く状況の中、今後も報酬審の答申額に合わせていく必要性について検討が必要。



- 政務活動費は議員の活動実態を市民に公開するツール。新しい時代に適応した情報公開の手法として、政務活動の領収書をネット上で公開することにより、議員活動をよりガラス張りにする 것을検討して欲しい。等、他多数意見を提出しました。

〔議員報酬増額分を寄付するまでに、さまざまにいただいたご意見、そして自ら考えたことについて〕

QRコードで検索できない場合

「議員報酬増額分を2020熊本水害支援に募金しました。まなべ陽子」



で検索いただくと幸いです。

〔議員報酬増額分 寄付先について〕

QRコードで検索できない場合

「議員報酬増額分 寄付について（令和3年）まなべ陽子」



で検索いただくと幸いです。

## 令和4年(2022)6月議会

### 【 学校生活、市民生活におけるマスクの着用について 】

- マスク着用のルールはかなり緩和されている。市民の皆様への周知状況は。厚生労働省、文部科学省連名で出しているチラシなどを回覧してもらえないか。

#### 教育長より

マスクによる弊害も指摘されている。感染予防対策と子どもたちの発達を促進するという2つの観点から、しっかりと現実を踏まえながらきめ細やかに対応していく。

#### 健康福祉部長より

厚生労働省、文部科学省連名で出しているチラシを回覧できるように準備をしていく。

### 🌀 真鍋の視点 🌀

新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用が始まって3年近くになる。

マスク着用に関しては当初から様々な議論があったが、学校教育現場において「マスクを外せない」子どもたちが問題になる今、適切なマスクの着脱をいかに判断していくかが課題となっている。

厚生労働省は、「屋外では季節を問わず、マスクの着用は原則不要」と訴えている。

子どもたちのお手本となれるように、マスク着用の必要がない場面においては、まず大人がマスクを外していくことが大切だろう。

マスクの着用について



厚生労働省より



発言時間

### 【 教育移住について 】

- 移住を考えている子育て世帯は、真剣に候補先の教育環境を調べた上で移住先を選んでいる。笠岡市が隣接している広島県は今、教育で大変話題になっているが、この状況についてどう考えているか。

#### 教育長より

広島県では様々な教育が展開されており、保護者の方々が我が子にとって必要な教育を選ぶことのできる環境があるということだと認識している。笠岡市は必ずしも負けてはいないと考えている。

- 岡山県内において、笠岡市の特別支援教育はトップクラスだと私は認識しているが、その情報発信はできていない。ぜひ、情報発信を。

### 🌀 真鍋の視点 🌀

令和3年ふるさと回帰センター窓口相談者が選んだ移住希望地アンケート結果が公表された。

(R4.2.25)

新型コロナ禍の中でも移住相談件数は過去最高4万9514件。セミナー参加者における人気No.1は広島県だ。ちなみに、窓口相談者、セミナー参加者ともに、岡山県は20位以内にも入っていない。この歴然とした差はどこから来ているのか？移住を希望している方々が必要としている情報が、適切に届いていないのではないのか？

今、広島県は多様な学びの選択肢を『公教育として』様々に用意している。

岡山県、そして笠岡市は、移住を希望している方々に今あるより良い教育を、随時適切に情報発信していくことが必要だろう。と同時に、本議会個人質問や委員会の席でたびたび紹介、言及している、「時間割がない」「通知表がない」「校則がない」など、公教育においてもできる取り組みを取り入れた、今の時代に合う新しい教育を、笠岡市においても本格的に模索していかなければならない時期に入ってきているのではないのか。

### 【 笠岡市まちづくり協議会条例の否決について 】

令和3年に10年を迎えた **まちづくり協議会** について、これまでの歩みから生まれた課題の解決や、まちづくり協議会の立ち位置、役割を明確にしてほしいとの「地域からの声にこたえ」、これからの協働のまちづくりを進めていくために制定しようとした「笠岡市まちづくり協議会条例」は、残念ながら否決に賛成多数により、原案は否決されました。(真鍋は否決に反対、原案に賛成)

地域ヒアリングを24回、会長懇談会を4回、パブリックコメントには79件もの意見が集まり、笠岡市まちづくり協議会制度見直し検討委員会においては12人の委員の皆様が計6回、職員32名からなる制度見直しチームが計6回会議を開いて検討を重ねてきた条例案が否決されたことは残念でなりません。

#### 〔 令和4年 第4回定例会(6月議会)最終日 〕

質疑のために2回、討論のために2回壇上に立ちました。(R4.6.23)

QRコードで検索できない場合

「令和4年第4回定例会最終日 まなべ陽子」で検索いただけます。



#### 〔 笠岡市特別職報酬等審議会 答申書 〕

「市長、副市長及び教育長の給料額並びに市議会議長、副議長及び議員の報酬額についての答申」(R3.12.24)



## 令和4年（2022）9月議会

### 【投票率低下を改善する取り組みについて】

- 18歳から19歳にかけて毎回10%以上、多いときには20%ほど投票率が下がっているのは、高校を卒業し、住民票を異動させずに転出している方々が多いなど様々な理由が考えられる。笠岡市では18歳になる方々にハガキを郵送しているが、19歳になる方々に向け、住民票の異動を促す、あるいは不在者投票の御案内も含めた啓発の案内ハガキを送ることはできるか。

#### 選挙管理委員長より

住民票の異動を促す取組としては、岡山県選挙管理委員会が住民票の異動を促すチラシを県内の高校に配付するとともに、笠岡市選挙管理委員会では高校生を対象とした出前講座の中で、住民票の異動についても話をしている。18歳になる方への選挙啓発ハガキに新たに住民票の異動を促す内容を含めるなど、今後はさらに啓発に取り組んでいく。

- 投票済証の存在を知らなかった方々から、あるなら欲しかったという苦情が出ている。投票済証を発行していることを積極的に広報、周知することはできるか。



#### 選挙管理委員長より

投票済証の発行に関しては投票自由の妨害や利益誘導など発行によるリスクが多いものと認識しており、希望者にも配付、積極的な広報・周知はしていない。今後は需要などを見極めながら、存在の周知に取り組んでいく。

投票済証について  
さまざまな自治体において発行されている  
投票済証について調べました。



### 【デジタル地域通貨について】

- 地域内における経済の循環・持続可能な地域づくりのツールとして、また行政コスト削減のツールとしてのデジタル地域通貨について、市の見解を尋ねる。

#### 政策部長より

デジタル地域通貨には導入、維持管理、セキュリティー対策に係るコストの発生、大手キャッシュレス決済サービスとの競合、利用可能場所等の限定という不便さを補ってでも使いたいという動機づけや、地域でしか使用できないデメリットを払拭するほどインパクトあるインセンティブが必要。笠岡市は大型商業施設を抱える都市経済圏にあるため、備後圏域連携中枢都市圏や高梁川流域連携中枢都市圏といった広域連携の枠組みでデジタル地域通貨を活用するほうがメリットが大きい。そのため、連携中枢都市

である福山市や倉敷市が主体的に動くべき事業であると考えており、笠岡市単独ではデジタル地域通貨の導入は考えていない。

- 令和3年6月議会においても質問しているが、答えが変わっていない。現在は大手キャッシュレス決済サービスに市民の通貨や情報が日々流れている状況。笠岡市は様々な場所に通貨が出やすいからこそ、単独でデジタル地域通貨を行い、市内における経済の循環を促す必要がある。そこからデータを得ることで、結果的に市民ニーズの把握を行うことができ、より必要な政策を立てることも可能になってくる。より効果的に地域を育てる、地域を強くするという事を考えていただきたい。

#### 市長より

マイナンバーカードを基軸にするというのは一つの考え方かなと思っている。

#### 真鍋の視点

全国の小中高校などを対象に文部科学省が実施した令和3（2021）年度の「問題行動・不登校調査」の結果が令和4年10月27日に公表されました。「不登校」※は、全国の小中学生は24万4940人（前年度比4万8813人増）と過去最多。「いじめ」は61万5351件（前年度比9万8188件増）で過去最多を記録。

「ウイズコロナ」を模索する今こそ、大胆で抜本的な教育改革が必要だと真鍋は提案しています。



教育バウチャー制度の提案 →

※ 「不登校児童生徒」とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

引用 文部科学省 不登校の現状に関する認識

### 【予算決算委員会分科会が放送されています】

令和4年度より、予算決算委員会分科会が放送されています。ご自宅にてリアルタイムや後日の録画放送にて、さまざまな案件に対する質疑や審議状況を視聴することができます。ぜひ、ご覧ください。



### 【ごみ分別アプリについて】

笠岡市では、ごみと資源の分別促進によるごみ減量や排出マナーの向上を図るため、10月より「ごみ分別アプリ」の配信を開始しています。詳細は笠岡市ホームページにてご確認ください。



## 政務活動紹介

### 岡山市議会議員女性の会に参加（R4.7.25）

総社市内で行われた岡山市議会議員女性の会に参加、総社市長より、障害者1500人雇用、ひきこもり支援についての講演をお聞きしました。  
昨年12月10日、笠岡市の学校給食で初めて有機にんじんが利用されたのですが、そのにんじんは笠岡市産ではなく総社市産、ということが気になっていたので、女性の会前にお時間をいただき、総社市役所農林課の方から総社市内における有機農業の状況や学校給食についてのお話もお聞きしました。



### 有機農業勉強会が開催されました。（R4.7.26）

農林水産省の有機農業促進のための協議会設立を希望する声を受け、笠岡市農政水産課による有機農業勉強会が開催されました。詳細は →



### オーガニック給食を求める市民の方々と市長・執行部との懇談（R4.8.31）

R2年12月23日、岡山県議会において「地域循環型のより安全な学校給食に関する支援要望について」が採択されましたが、そのための署名活動（8400筆 オンラインなし 直筆のみ）を行われたFlower Wings 主宰 安藤直子さんも同席してください、オーガニック給食を求める活動についてや、義務教育段階にある子どもたちが平等に食べることができる給食がオーガニックであることの意義についてなどのお話を、執行部の方々に聞いていただきました。



### 令和4年度高梁川流域障がい児保護者支援事業 相談支援ファイル活用研修会 2回目に参加（R4.10.26）

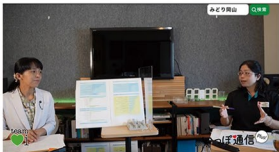


倉敷市作成の相談支援ファイル「かがやき」を利用しながら具体的な事例をもとに、相談支援ファイルの書き方を実践的に学びました。  
笠岡市相談支援ファイル「かけはし」が10年前に作成された時には私も意見を求められ、様々にアイデアを出したのですが、今回の研修会を参考にしたり、災害時の個別避難計画を組み込むなど、今の社会状況にあわせるためのリニューアルをそろそろ行っても良い時期だと考えています。

## 動画のご案内

### 令和4年6月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症について
- ② 令和4年夏投開票参議院議員選挙について
- ③ 移住・定住・関係人口政策について
- ④ 子どもたちの健やかな育ちを保障するために



### 令和4年9月議会 個人質問

- ① 令和4年7月10日投開票参議院議員通常選挙について
- ② 学校教育について
- ③ デジタル地域通貨を活用した地元企業支援と地域コミュニティの形成、行政コストの削減について

### 「配慮(支援)の必要な子どもの高校進学オンライン調査」報告

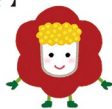
大塚愛 岡山県議会議員の県議会定例会報告動画にゲストで出ています。ぜひ、ご覧ください。

#### 【入会団体・賛同団体】

岡山市議会議員女性の会  
自治体議員政策情報センター虹とみどり  
立憲主義と地方自治を守る議員の会  
気候危機・自治体議員の会

#### 【所属している委員会・審議会】

総務文教委員会  
笠岡市都市計画審議会



ホームページ <http://www.manabeyoko-kasaoka.org>

ブログ <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>

Facebook <https://www.facebook.com/manabeyoko>

Instagram [https://www.instagram.com/manabe\\_yoko\\_k](https://www.instagram.com/manabe_yoko_k)

TikTok [www.tiktok.com/@manabeyoko](http://www.tiktok.com/@manabeyoko)

✉ [manabeyoko.kasaoka@gmail.com](mailto:manabeyoko.kasaoka@gmail.com)

まなべ陽子市政だより「かぶとがに通信」へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

